

岐阜大学 学生員 ○二村春香
岐阜大学 正会員 田中尚人
岐阜大学 正会員 秋山孝正

1. はじめに

岐阜市の長良橋周辺地区は、名所などを抱えた歴史あるまちである。一方、地形上数々の水害に見舞われた場所でもあり、これまで多くの治水技術や人の知恵が投入されてきた。本研究では水辺の都市形成の魅力を明らかにするために治水事業による空間整備と人々の水辺利用の変容を、「観光」の視点から分析した。

2. 治水を基盤とした都市形成の概要

(1) 治水事業による空間整備

対象地周辺の河川と都市の変化を、歴史的文献、地図、写真などから年表に整理した(表-1)。また治水事業に伴う都市の変化を空間的に把握するため、平面図、断面図に整理した。これより、水辺空間の変容過程を明らかにした。

(2) 時代区分の設定及び特徴の整理

エポックメイキングとなった事業により、対象地の水辺空間の変化に5つの時代区分を設定した。

①第一期は舟運の利用や護岸の整備などに近世の技術の延長がみられた。②第二期に入ると石積みの護

岸や流入河川の埋め立てなど(表-1 中の(a))水害に対する整備が開始された。③第三期には上流改修計画(表-1 中の(b))に伴い本格的な治水事業が施行され、特殊堤(表-1 中の(c))や樋門など対象地の地形に合った整備が施された。第二期から第三期への変化を平面図(図-1)で表すと、締切をした河川の様子が分かる。また断面図(図-2)で表すと、導入された放水路によるまちの空間の変化が分かる。④第四期は治水の土台が整えられた上にまちの発展がみられた。⑤第五期には新しい水辺の利用として親水性に富んだ空間整備(表-1 中の(d))が導入された。各時代における治水を基盤とした都市形成のプロセスを示すことができた。

3. 観光案内資料にみる河川景観の変遷

治水を第一義的目的として整備されてきた対象地において、人々の水辺利用の変化を河川景観の変化として捉え、観光案内を用いて分析した。

(1) 長良川の景観の変遷

各時代の絵葉書や写真資料を収集し、2章での時代区分に沿って長良川の様子を整理した。写真-1は第二

表-1 長良橋周辺地区の都市形成の概要 (参考文献¹⁾²⁾を基に筆者作成)

年号	時代区分	河川、水辺では	都市では	社会的には	水害
1874(M7)	第一期: 近世の延長	渡し(M7年まで) 初代、二代目長良橋(M7,17)	湊町としての発展(1500~1700頃)	木曾川下流改修計画(M20) 濃尾大震災(M24)	●●(M12, M15) ●(M17)
1904(M37)	第二期: 水辺の近代化	護岸整備(M30頃)	(a) 川道埋立(M30頃) 三代目長良橋(M34) 四代目長良橋(T4) 路面電車線路敷設	河川法制定(M29) 都市計画法・道路法公布(T8)	●●●(M26, M29)
1934(S9)	第三期: 治水の本格化	木曾川上流改修計画(T10)(b) 古川・古々川締切(S14)	忠節用水放水路完成(S11) 長良特殊堤完成(S24)(c) 忠節特殊堤完成(S26)	都市計画法改正(S8) 太平洋戦争(S16) 大空襲、終戦(S20)	
1964(S39)	第四期: 都市骨格の成熟		五代目長良橋(S32) 陸間、防水壁設置(兩岸)(S37)	新道路交通法施行(S35) 新河川法制定(S39)	●●●(S34, 35) ●(S36) ●(S51)
1994(H6) 2004(H16)	第五期: 親水空間の導入	湊コミュニティ水路完成(S63)(d)	長良橋路面電車線路廃止(S63)	「多自然型川づくり」推進	

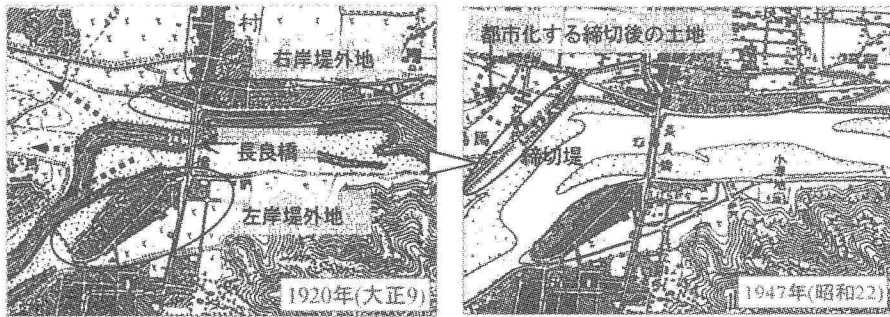


図-1 対象地の平面変化(第二期→第三期)(25,000分の1地形図を基に筆者加筆)

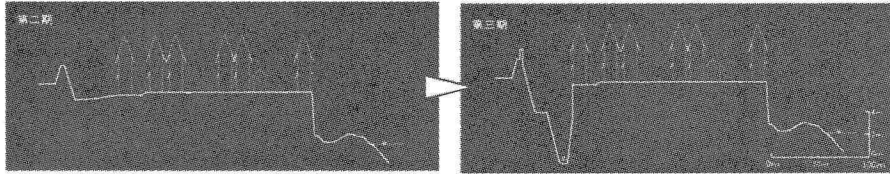


図-2 長良橋左岸側の断面変化(第二期→第三期)



写真-1³⁾ 長良川の様子(大正初期)

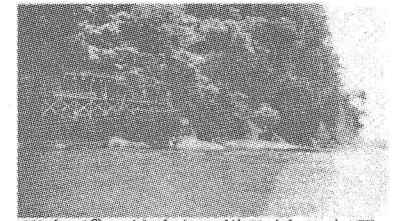


写真-2³⁾ 納涼台の様子(大正末期)

期の長良川で、治水整備前の三川に分流する轟々とした様子が伺える。写真-2は第三期に設置された鵜飼観光用の納涼台で、当時の絵葉書に多く掲載されていた。

(2) 観光案内資料を用いた景観の分析

岐阜県図書館に所蔵される観光案内資料を収集し、長良橋周辺の名所の記載やその特徴を各期ごとに整理した。記載された内容から、観光対象として人々が愛でた長良川の景観を明らかにした。記載項目の内容を表-2に示した。項目は河川空間に関連する要素である長良川、長良橋、鵜飼を採り上げた。

第二期では河川そのものの水明さを謳い、第三期は鉄筋構造の長良橋や鵜飼客を誘致する納涼台など、川を眺める場所についての記載が多くみられた。都市の成熟する第四期では長良川の清流や鵜飼を歴史あるものとして捉える傾向があった。第五期はこれまでと異なり、顕著な記述を避けた長良川全体の観光名所の紹介がなされていた。時代によって河川の魅力の表現に差異があることが分かった。

(3) 空間整備と景観の認識に関する分析

空間整備と観光案内に描かれた長良川の景観の魅力を図-3のように整理した。これを分析すると、第二期は河川整備の近代化が始まった頃であったが、依然として河川の清水さや帆船の上の情景など川そのものの美しさを捉えていた。第三期は治水が本格化する中で、人工的な河川利用に観光客や市民の関心が集まっていたと言える。第四期で都市骨格が成熟すると、長良川の景観の唯一性が大切にされたことが分かった。空間の変容に従った各時代の河川景観の受け入れ方があることが明らかとなった。

表-2 観光案内の記載項目(第二期～第五期)

タイトル (年)	岐阜市案内 (1908年)	岐阜市案内 (1925年)	岐阜の観光 (1956年)	岐阜のみどころ (1989年)
頁数	82(内鵜飼関連16)	53(内鵜飼関連17)	72(内鵜飼関連14)	99(内鵜飼関連3)
発行者	岐阜市教育会	岐阜市役所	日野 誠	岐阜市・岐阜市観光協会
長良川について	沿革(水源・支流等) 納涼と鵜飼の場 乗船時の川 →多くの船が浮かぶ様子	季節ごとの見所 鵜飼…詩歌、遊覧船、納涼床	沿革(位置・支流・長さ・歴史) 川の様子 清流であることのアピール(鵜飼) 長良川の自然、伝説	データ(源流・支流・長さ) 名水百選の選定(水の美しさ、ダムなし川)
長良橋について	特になし	四代目橋:岐阜市の大詰めを飾る一偉観・交通の要所・文明開発の表徴・橋上の眺め…金華山、鵜飼	特になし	明七橋の概要 現在橋(五代目)のデータ写真 ※取り上げられている訳ではなく、施設の項目で長良川にかかる橋を紹介
鵜飼について	修学旅行生の多さを強調 ※長良川の項に記載 長良川鵜飼記(附属) 長良川の沿革 鵜飼の沿革 漁獲方法と其光景(短歌でも紹介) 鵜の捕獲及其馴到方法	起源と経歴 鵜の捕獲及馴到方法 魚業の方法 鵜と其料理	概要(眺めた様子・歴史と伝統で一見の価値を強調・総がらみの様子)意図するもの(歴史・見ることの価値・遊覧船説明) 鵜 鵜匠 鵜場・季節・観覧・その他	鵜飼の様子(鵜飼漁を見た幻想的な世界) 長良川における鵜飼の沿革 一伝説と歴史を守っているのは岐阜長良川のみとアピール
その他	岐阜市の沿革を紹介する目的	企業広告が急増	絵はがきあり(金華山からの眺め・長良橋・金華山) 市内観光のあらまし(岐阜市の文化の紹介)	施設として長良橋を紹介 まつりの項 観光コースの提示 岐阜市周辺の観光案内図を載せる

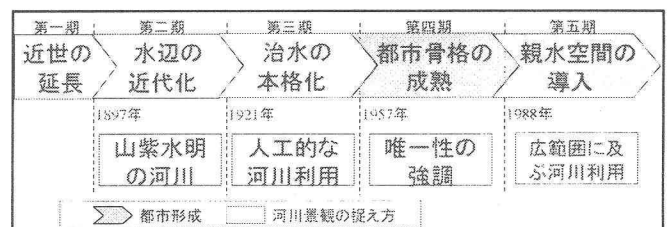


図-3 空間整備と河川景観の認識

4. おわりに

対象地の都市形成は治水を基盤としており、空間変容に基づき人々の河川景観の捉え方も変化する事が明らかになった。今後、景観の視点として鵜飼や水害などを分析していくことが課題として挙げられる。

【参考文献】

- 1)岐阜市役所：岐阜市史，1928
- 2)木曾三川水と文化の研究会：木曾三川に生きる 川の歴史を知る—長良川改修の道のり—，1994
- 3)岐阜市歴史博物館：館蔵品図録「絵はがき」，1999